

防災訓練等指導業務報告書

リーダー	ファシリテータ	ファシリテータ	ファシリテータ	ファシリテータ	事務局長	事務局

研修団体名	新居浜市立中萩小学校	住所	新居浜市中萩町6-61	電話	41-6225
研修日時	令和4年12月15日 木曜日	研修対象者	中萩小学校 5年生	研修人数	140名 12チーム
研修場所	中萩小学校 体育館	研修目的	有事に於ける避難所運営の体験を行う。		
講師	馬越 健	ファシリテータ	近藤・菅	オブザーバー	衣川・柿本・川端・菅・岡部、田窪・中野・加藤 中萩連合自治会 5名

事前打合せ

日時	令和4年11月22日 火曜日 15時30分～16時30分	場所	中萩公民館
参加者 研修者		参加者 ネットワーク	馬越リーダー、衣川推進員
研修日時	12月15日 木曜日 9時00分～12時00分	講習内容	小中学校バージョン 地震災害120分
場所	中萩小学校	準備品について	教材（カード）、PC
参加者予定	中萩小学校 5年生	雑材 不足品等については学校にて準備	
	ネットワーク 講師：馬越 ファシリテーター：近藤・菅 オブザーバー：衣川他7名	設備（マイク、スクリーン）については 学校機材を貸与	中萩連合自治会
	当日は、8時30分に集合して、会場準備を行う。 テーブルへの振り分けは、学校にて行う。	講演開始は、9時といたします。	

防災訓練等指導内容

・HUG研修感想

- ・実際に災害にあった時には、動いてもらうのではなく自分から動きたいです。
- ・災害の時困った人はたくさんいるけど、ひとりでもへらして災害でも楽しくしたいです。最初は近くにいるひとを助けたいです。
助けてもらったらちゃんとお礼をしたいです。避難してくる人は多いので、一人でも早く助けたり、みんなで協力することも大切だと思いました。私も人を困らないようにし「やさしく」を心がけて、一つの命を守りたいと思います。
- ・情報は誰かが知らせないと、違う人に届かないし知らせないと命に関わることもあるから大事だと思いました、協力や助け合いも大切だとゲーム中にわかりました。
- ・大人になったら災害の時にどうすればいいよっていうのを教えるボランティアになるものいいなと思いました。
- ・今日のことをわすれないようにして家族に教えてあげたいです。避難所に来たときにはお客さんにならないようにしたいです。一人一人の希望にこたえるのも大変でした。
- ・衣川さんが言っていたように避難所に来たときはお客さんじゃなく、「自分が助ける」ということです。一人一人の行動でたくさんの命が助かるので「自分から」を心がけたいです。
- ・本当に地震が起きたときは、自分が他の人に教えたりして誘導できるような人になりたいと思いました。もっともっと人を助けれる自分になりたいと思いました。そのため日常から友達や、家族が困っていると助けてあげたいと思いました。もしも災害が起これたら自助と共助をしたいと思いました。
- ・避難してきた人の気持ちをよく考えることで、一人一人にあった対応ができると思いました。そして避難所運営ゲームを通じて、このようなことがわかることができるからとてもいいゲームだと思いました。
- ・十年後の未来で人々の役に立つように今日から家で復習して未来につなげていきたいと思いました。
- ・もし本当に災害が起きた時は学校に詳しい私たちが困っている人を助けてあげたいです。

発行番号No.

令和4年12月15日

